

ジェンダー視点から見た中国の失業統計

秦小傑(法政大学大学院)

はじめに

- ① 報告の課題：中国の失業統計システムに調査原票、報告原票から統計報告表まで各段階において、どこまで性区分しているかを中心に、ジェンダー視点から中国の失業統計システムを検討した上で、いくつかの改善策を提案することである。
- ② 必要性：中国においては、失業問題は貧富の格差を拡大させ、犯罪など社会問題をもたらしただけでなく、中国経済の発展と政治の安定にも大きく影響しており、中国にとって最も緊急な問題のひとつとなった。この過程で、女性はその影響を最も受けており、就業率は急激に減少している。そこには女性失業者の増大は推測できるが、その実態が浮かび上がっていない。したがって、性区分された失業統計が必要であり、中国の失業関連統計の検討が要請される。

1、中国における失業統計制度と失業の定義

1.1 予備的に：

中国の失業統計システム

- | | |
|---|---------------------|
| { | ①報告制度による失業統計 |
| | (基準：都市部登録失業者(率)の定義) |
| | ②調査による失業統計 |
| | (基準：都市部調査失業者(率)の定義) |

中国統計年鑑 中国労働統計年鑑 中国人口普查資料

1.2 中国の失業の定義

- ① 都市部登録失業者(率) 問題点：狭い (2003年に改定)
- ② 都市部調査失業者(率) 問題点：公表されていない

2 ジェンダー視点による中国の失業統計の特徴と問題点

2.1 分析視角：日本における「ジェンダー統計充実度合いの評価レベル」などの論議を前提する。

2.2 分析結果(表)

2.3 中国の失業統計の特徴と問題点

- (1) 『職業訓練・就業統計報告制度』の報告表(日本では報告様式)
問題点：①関連指標が少ない②福利施設の廃止についての項目がない。
- (2) 人口センサス原票
問題点：①前職についての質問項目が少ない、②配偶関係についての質問項目がない、③失業期間についての質問項目がない。
- (3) 『中国普查資料』
問題点：①人口センサス原票によって得られる情報は有効に利用していない、②関連指標と多重的クロスが少ない。
- (4) 労働力調査 (原票は公表されていない)
- (5) 『中国労働統計年鑑』(中国において労働に関する最も詳細な統計資料)
問題点：①調査失業者数(率)については一切公表されていない、②登録失業率、下崗者の再就職については性区分を持たない、③報告原票、調査票によって得られる情報を十分に利用していない、④関連指標が少ない、⑤関連指標のクロスが単純である。

3 改善の方向

- (1)性別に区分した登録失業、調査失業に関する統計を提供する。
- (2)性別を関連指標と多重的クロスさせる。
- (3)その他。

表5 中国の失業統計指標

項目	性別区分					クロス
	原票		結果表			
	調査表	報告表	統計表	グラフ	web	
労働力人口	○	×	○	×	×	人数 人口*○年齢, 就業状態, 都市・鎮・農村 年・都市部・農村部
就業者	○	-	○*	#・f	△*1	人数 年, ○*・都市・農村・企形・産 人口*○地, 産・職, 都市・鎮・農村; 人口*○年齢, 教, 産・職
						率 都市・農村, 産, 地・年
						割合 ○年齢・地・産・職, 教; ○年齢・産・職, 戸 ○年齢・教, 従地
都市部登録失業者						
昨年年末失業者	-	×	×	×	×	人数 地
今年登録失業者	-	○*	○*	×	○*	人数 地, ○*・FE*
今年再就業者	-	○*	○*	×	○*	人数 地
今年年末失業者	-	○*	○*	×	○*	人数 地, 年(95年まで内失青); 地, ○*・L*
登録失業率	-	×	×	×	×	人数 地, 年
失業保険金の受領	-	○*	×	×	×	人数 地
失業者						
下崗者						
昨年年末下崗者	-	×	×	×	×	人数 企形, 産; 地, 産; 企形, 地
今年増加した下崗者	-	×	×	×	×	人数 企形, 産, セ入; 地, 産, セ入; 企形, 地, セ入
今年減少した下崗者	-	×	×	×	×	人数 企形, 産, セ出{解・再職・協期(再職・登失)} 地, 産, セ出{解・再職・協期(再職・登失)}
今年年末の下崗者	-	○	○	×	×	人数 企形, 産, ○50・40・セ入{協締(生費・保料)} 地, 産, ○50・40・セ入{協締(生費・保料)} 企形, 地, ○50・40・セ入{協締(生費・保料)}
都市部調査失業者	○	-	○	×	△	人数 人口*○教, 前職;*○世規 人口(無業者から計算)*○年齢, 教;*○地 割合 ○年齢・教, 失業理由; ○教, 求方・職・産; ○年齢, 教・求方・職・産;
非労働力人口*2	○	×	○	×	×	人数 人口*○地;*○年齢, 教(無業者から計算) 農村・都市

注：1. 失業に関して、『中国統計年鑑』にある指標は『中国労働統計年鑑』にすべて掲載されているので、『中国統計年鑑』の統計表は取り上げない。クロス欄で特に示していない指標はすべて『中国労働統計年鑑』のものであり、人口*は『人口普查資料』の統計表のものである。2. 「○」は合計、性別区分ともあり、「#」は性合計のみ、「f」は女性のみ、「○*」：内女性、「△」は割合のみ性別区分あり、「,」はクロス、「・」は非クロス、「;」は同じ資料だが、違う統計表を意味する。3. ウェブサイトに公表されているのは『中国労働統計年鑑』そのものなので、ウェブサイトの性別区分については『中国労働統計年鑑』と同様である。4. *2：1999年まで、統計表に16歳以上在学学生、家事労働者との区分があったが、2000年以降の『中国労働統計年鑑』にその区分がなくなった。説明がないので理由は不明。5. スペースの問題で、クロス項目は以下のように略記した。①年：年次、②地：地域、③教：教育水準、④戸：戸籍、⑤産：産業、⑥職：職業、前職：前職職業⑦企形：企業形態(国有単位、集団単位、その他単位)、⑧求方：求職方法、⑨世規：世帯規模、⑩従地：従業上の地位、⑪失青：失業青年、⑫L*：内長期失業者(6ヶ月以上失業した者)、⑬FE* (Unemployment from Employed)：内前職を失った失業者。⑭下崗者について：セ入：再就業サービスセンターに入所した者 FE* (Unemployment from Employed)：内前職を失った失業者、セ出：再就業サービスセンターから転出した者、解：労働契約を解除した者、再職：再就職できた下崗者、協期：協議期限が過ぎた者、登失：登録失業者となった者、○50・40：性別に区分され、さらに男性の内50歳以上の者、女性の内40歳以上の者との区分がある、協締：再就業サービスセンターと協議を締結した者、生費：生活費を満額受領した者、保料：再就業サービスセンターに社会保険料を満額納めてもらった下崗者。